中学校に入っても英語頑張ろうね！

『コラボ授業』で小学6年生が英語の授業を体験！

名将と言われた野村克也元監督の訃報をテレビで知りました。十二日の新聞のトップ記事はそのことを伝えるものでした。元野球選手の訃報がトップ記事で扱われるのもそうあるものではありません。それだけの偉業を成し遂げた人物であるということのあらわれでしょう。テレビのニュースでもトップニュースとして扱われ、その中で、野村克也元監督の人となりが伝えられていました。幼いときに父親を亡くし、幼少期は貧しい生活を送ったと言います。貧乏な生活から脱却したいとの思いから、野球選手を志すようになったそうです。野村監督を師と仰ぐ選手は「他人に気を遣う人になれ、気を遣われる人になるな」と言われたことが印象に残っていると言います。野球だけではなく、人間を育てるそんな野村監督の姿勢を感じる言葉です。

さて、先日、校区小中連携事業として、小学校六年生を対象に、中学校の授業を体験するという『小中コラボ授業』がおこなわれました。これは、子どもたちが小学校から中学校へのギャップをより少なく、スムーズに乗り越えられるよう、小中の連携を進めていこうというねらいでおこなわれているものです。

この日は、英語科の藤堂先生とＡＬＴのケビン先生が各小学校を回って、小学生に英語の授業をおこないました。現在、各小学校では、まず「英語の音」に慣れるよう授業をすすめていますが、中学校に入ると、小学校での学びにプラスして、「読み書き」のスキルも磨いていきます。今回は「読み書き」を含め、中学校の英語の授業を体験してもらいましたが、楽しみながら一生懸命に取り組んでくれました。四月から、中学生としてたくさんのことにチャレンジしてくれることを楽しみにしています。

間の交流を深めるほか、時代ごとで象徴される校内の問題をテーマに意見交換を行っています。

今回は東近江市内の中学校十校の生徒会役員、教職員、保護者など約五十人が参加し、いじめ問題の解決に向けて意見を交わし合いました。

交流会の第一部では、各校が制作した「ＳＴＯＰいじめＣＭ」の発表がおこなわれ、いじめを見たときに止める勇気などを約一分のＣＭで訴え、第二部ではネットいじめの事例を元にいじめを防ぐための取り組みについてグループ協議がおこなわれました。

グループ協議ではまず、生徒、教職員、保護者が混ざったグループで、立場ごとにできることと望むことをあげ、意見を出し合いました。その後、生徒、教職員、保護者のみのグループに分かれ、まとめた意見を発表しました。

生徒たちからは「相手の気持ちを考えて発言する」、「ネットに頼らず、相手の顔を見て話す」、教職員からは「生徒の声をじっくり聞く」、保護者からは「スマホの知識とルール作り」などがあげられました。

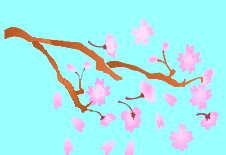
いじめ問題解決へ！
東近江市生徒会交流会！！

二十五日、あかね文化ホールで「東近江市中学校生徒会交流会」が開かれ、湖東中学校から木山君、中西君、薫森君が参加しました。この取り組みは、生徒の自主的・主体的な姿勢を育み、各校の生徒会活動の充実に向けた取り組みを推進しようと東近江市教育委員会が開いているもので、学校

「たつたのかわ」とったー！
1年生がカルタ会で楽しいひととき！

十日、一年生がカルタ会をおこないました。今回は、各クラスごとにグループを決めて、クラス対抗でおこないました。

上の句を読み始めると、一斉に頭を寄せ，札に集中します。「やったー」と大声ではしゃぐ生徒や、得意な札をとられて悔しそうにする生徒など様々でした。中には、早くに戦意喪失して、カルタでタワーを作っている生徒もいました。団体戦は二組が優勝し、キングに福島正士君、クイーンに久木一花さんが選ばれました。

３月の予定

３／　１（日）県立高等学校卒業式
　　２（月）１・２年期末テスト
　　　３年実力テスト
　　３（火）県立高校一般選抜出願変更～５日
　　５（木）１年・５組・６組読み聞かせ
　　　ＰＴＡ常任委員会
　１０（火）県立高校一般選抜
　１２（木）卒業式予行、前日準備
　　　同窓会入会式
　　　部活なし
　１３（金）卒業証書授与式
　　　部活なし
　１４（土）サッカー部富山遠征～１５日
　１７（火）県立高校一般選抜合格発表
　１８（水）ＰＴＡ会計監査
　１９（木）小学校卒業式
　２２（日）吹奏楽部スプリングコンサート
　２３（月）給食終了
　２４（火）令和元年度修了式
　　　大掃除